

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	地域研究(英国)	2	浅野 和生	
平成25年度以前	地域研究(英国)Ⅱ	2		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			教職
	教科に関する科目(中学校(社会)):地理学(地誌を含む)			
授業の到達目標及びテーマ				言語
<p>イギリスには、「ヨーロッパの中のイギリス」と「ヨーロッパと対抗するイギリス」という二面性がある。この授業では、20世紀を代表するチャーチル、アトリー、サッチャー、ブレアの4人の首相の主要な事績を通して、ヨーロッパ大陸の外縁に浮かぶ島国としてのイギリスについての理解を深めることを目的とします。また、それらの背景にある地政学的な意味についても解説します。</p>				共通
授業の概要				専門基礎
<p>チャーチルは二つの大戦で指導的役割を果たしたが、それらはいずれもヨーロッパの低地地方の支配権がキーポイントであり、また、英国の作戦はヨーロッパの地理とともにアメリカとの同盟、すなわち大西洋の国家という位置づけとも密接に関わっていました。また、第二次世界大戦後のいわゆる冷戦と、ECからEUの発展とイギリスとの関係は、ヨーロッパの外にあって大西洋同盟を基軸にヨーロッパと対抗するイギリスと、ヨーロッパの一国としてのイギリスという、イギリスの国家としての位置づけと深くかかわっています。本授業では、こうしたイギリスの特色について講義します。</p>				法律一般
授業計画				政治行政
<p>第1回:授業の概要とイギリスの地理と20世紀イギリス史 第2回:チャーチルの生い立ちから庶民院議員初当選まで 第3回:チャーチルと社会改革 第4回:人民予算の成立 第5回:海相チャーチルと第一次世界大戦:ヨーロッパの一国としてのイギリスと大西洋同盟 第6回:戦間期のイギリスと欧州 第7回:第二次世界大戦とチャーチル① 大西洋憲章と連合国宣言 第8回:第二次世界大戦とチャーチル② カイロ宣言とヤルタ協定 第9回:アトリーの生い立ちから労働党党首まで 第10回:エリザベス救貧法からベヴァリッジ計画へ 第11回:高度福祉国家体制と英国病 第12回:サッチャーの生い立ちから保守党党首まで:イギリスとEC 第13回:コンセンサス政治からサッチャリズムへ:冷戦と大西洋同盟 第14回:ブレアの生い立ちから労働党党首まで 第15回:ニューレイバーの政治:ヨーロッパの一国としてのイギリス</p> <p>定期試験</p> <p>【履修上の注意事項】 授業は毎回出席をとります。講義のノートをしっかりとする努力をしてください。また、大学生らしい受講態度を期待しています。</p>				経営法務
テキスト				スポーツ福祉
初回授業で指示する				演習
参考書・参考資料等				25年度以前 政治行政コース
河合秀和『チャーチル』(中公新書 1998年) 黒岩徹『戦うリーダーシップ』(文芸春秋 1989年) 黒岩徹『決断するイギリス』(文春新書 1999年)				
学生に対する評価				
<p>期末試験の結果と平常点によって評価します。また、任意提出のレポート課題を2回提示します。</p>				